

地方議会研修会

日時 平成29年1月28日 午前10時から午後4時30分

場所 福岡県博多区博多駅東1丁目16-14 (リファレンス駅東ビル)

講師 高橋伸介 枚方市議会議員 (平成27年4期の議員任期と副議長公務を終える)

1 講座 政務活動費、議員報酬、議員定数について (午前10時から午後12時30分)

1 なぜ政務活動費にまつわるトラブルが多発するか、なぜ事件が止まらないか

- ・持ち出しの多い選挙を戦い常在戦場意識の中で金銭犯罪意識が希薄
- ・会計は小さい仕事と軽視、他人任せ
- ・常に選挙対策で「票」と同じに「金」も貰えるものは貰う
- ・議会事務局の議員に対する力不足、まだ続くお世話係意識

政務活動費の処理は「地雷の処理」と心得、真剣に
収支報告書は見える化から見せる化

2 議員報酬

- ・現在は「懲罰」的に報酬・定数の削減が叫ばれる流れ
- ・議員の仕事が明確でなく、報酬根拠も薄く批判にさらされやすい
- ・マスコミの取り上げ方にも問題、本質よりも揚げ足取りに終始している

地方自治法などでは基準額や算定方法は定めておらず、同規模の自治隊を参考に決める
ケースが多い

「非常勤の議員報酬」から「議員報酬」へ「公選職」?を視野に入れた分言へなろうとして
いる

4年の任期の間、活動に専従できる条件をできるだけ整える方向で議員報酬を検討すべ
きである

3 議員定数について

- ・議会自らの判断が問われるようになった
- ・二元せい、としては定数は多いほうがいい
- ・「指標として常任委員会数×討論できる人数は6名とし、委員長以外を奇数とするなら
8人が妥当」とされる。(センスが現場に近い江藤俊昭氏は語っている)

今後は議員減少の中、常任委員会の議員数を見直し。常任委員会の整理統合で対応して
いくこと

議会基本条例をもとに倫理武装すること

2 講座 [午後 2 時から午後 4 時 30 分]

効果的な質問方法

- 一般質問では「知っていることを聞き、知らないことは聞かない」そのためには自信の事前勉強と十二分なヒアリングがだいじである
- 質疑については、誤った認識で何ら事実の裏付けのない単なる「演説」「要望」はタブーである。「指摘」はできる。
- 決算カード読み切る基礎的理解が必要である
- 組合との関係で執行部が切り出しにくい、合理化、組織運営、各種削減課題を指摘することが大事である

5 時間と、長い講座ではあったが初心に帰って勉強ができよかった